

地球にやさしい世の中をつくるために、みんなが工夫をしているんだね!



▲マツダの自動車生産工場(宇品工場・広島県広島市)

6 生産編

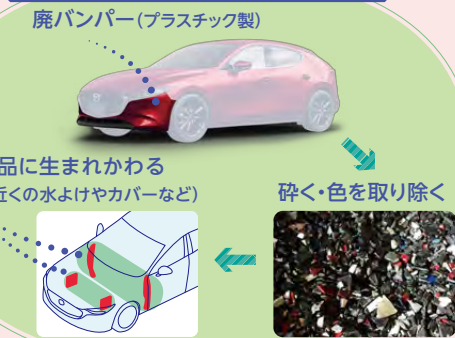
●おたずねした会社
マツダ(広島県安芸郡府中町)

作る
ときから
リサイクルしやすく

リサイクルは設計・開発から

自動車メーカーでは、車を設計・開発する段階から、使用済み(廃車)になったあとのリサイクルを考え取り組んでいます。たとえば、部品はリサイクルしやすい素材を選んだり、解体時に簡単に取りはずせるようにしたりしています。車の生産工場でも、できるだけゴミが出ない工夫をしたり、きちんと分別して再資源化したり、水も使う前と同じくらいきれいにするなど、環境にやさしい取り組みをしています。

●バンパーから部品にリサイクル●



▲バンパーから別の部品へのリサイクル例

5 オークション編

●おたずねしたところ
JU新潟(新潟県中古自動車販売商工組合)(新潟県新潟市)

社会の
**リユースに
大きな役割**



▲出品車をきびしくチェックする検査員

▲オークションではA、Bの画面で順々に車が売られています。画面では出品車の写真や評価が見られます(画像はイメージです)

長く車を乗りつぐ仕組み

車を売りたい人と買いたい人をつなぎ、車がリユース(再利用)されるのをあと押ししているのがオークションです。売りたい人から出品された車は、安全性などがきびしくチェックされ、オークションでは買いたい人の中で一番高くつけられた金額と、売りたい人の希望金額がマッチすれば売買が成立します。リサイクル料金も新しい所有者が支払い、しっかり引きつがれます。

自動車リサイクルをもっとわくわく学べるよ!

公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

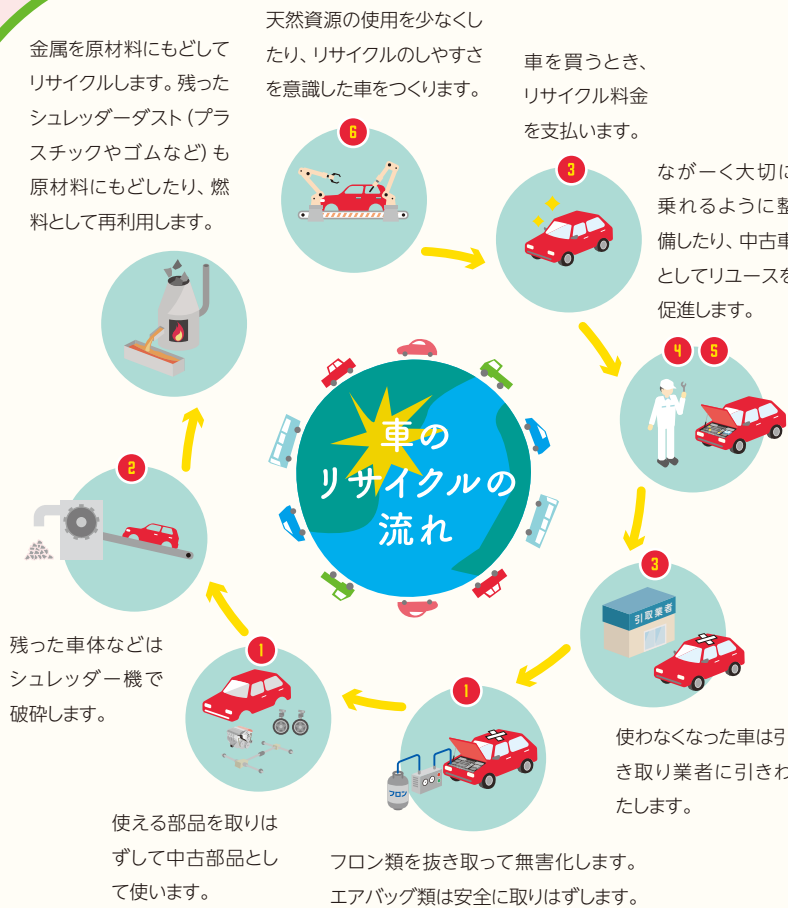
<https://www.jarc.or.jp>

未来の地球のために!

進め!くるまのリサイクル

循環型社会に向けた取り組みとそれぞれの役割

まとめ編



第1部 使用済みになった車のゆくえ

1 解体編 2 破碎編

第2部 みんなで支える車のリサイクル

3 販売編 4 整備編 5 オークション編 6 生産編

車のほとんどをリサイクル!

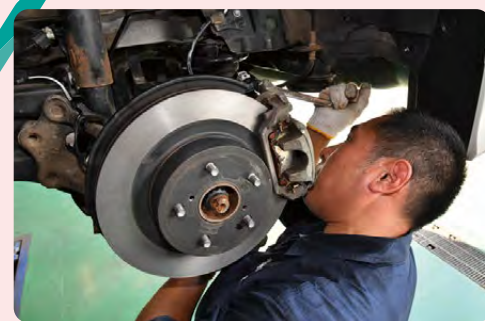
4 整備編

●おたずねした会社
北日本自動車共販(北海道札幌市)

長く乗るための
車のお医者さん!

車の健康をサポート!

日ごろから車をきちんと点検、整備することで、故障や事故を防ぎ、ユーザーが長く安全に乗れるようサポートしてくれているのが自動車整備店です。また、整備士の人たちは、ユーザーの希望をきいてリサイクル部品を使うことにより、新品の部品よりも安く整備・修理ができ、同時に資源の有効活用とゴミを減らすことにもつなげています。



▲リサイクル部品を取り付ける整備士

自動車リサイクル博士と一緒に車のリサイクル現場をたずねるシリーズも、今回は最後の「まとめ編」です。これまで、使用済みになった車(廃車)がどのようにリサイクルされるか紹介する「第1部 使用済みになった車のゆくえ」、車に関わる人々がそれぞれの役割の中でどのように環境への取り組みをしているか紹介する「第2部 みんなで支える車のリサイクル」で、あわせて6つの現場をたずねる車のリサイクルを学んできました。

1台の車が作られ、大切に乗りつがれて、やがて廃車となりリサイクルされるまでには、ユーザーをはじめ、さまざまな人たちがそれぞれの役割をしっかりと果たし、力を合わせてリサイクルを支えています。

ここで、処理に専門の技術が必要な「エアバッグ」「フロンガス」「シュレッダーダスト」も、車を買うときにユーザーが支払う「リサイクル料金」によってきちんと処理されています。

こうしたみんなで力を合わせたリサイクルの仕組みは、世界から「ジャパンモデル」として注目されています。それでは、自動車リサイクル博士とたずねた車のリサイクル現場をふりかえりながら、よりよい環境や限りある資源を守るための取り組みをもつ一度見てみましょう。

力を合わせて循環型社会を実現



1 解体編

きちんと解体処理し

使える部品を再利用!

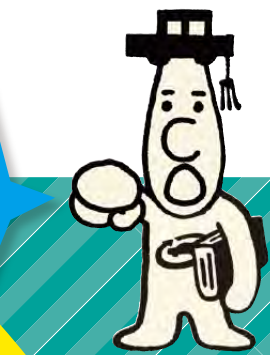
部品や素材を大切に生かす!

車をリサイクルする流れの中で、使用済みの車(廃車)が最初に運ばれてくるのが解体工場です。ここでは、まず乗っている人を事故のしよげきから守る「エアバッグ」や、カーエアコン用の「フロンガス」が正しい方法で処理されます。そのあと、まだ使える部品ははいねいに取りはずされ再利用されます。そして、残りの車体は解体・分別されて破碎工場へと向かいます。



▲再利用されるバンパーの取りはずし

▲エアバッグの処理は運転席も助手席も一緒に「ボン!



車は1台1台、そのほとんどがリサイクルされているよ。それはみんなの努力で実現しているんだね! 地球の環境を守るためには、自動車に関わるみんなで力を合わせる事が重要なんだ!

2 破碎編

砕いて分けられ

生まれかわる資源!



▶1日150トンも回収される鉄の山。再生された金属資源は、再び金属製品の原料になります

使用済みの車は資源の宝庫!

解体工場から破碎工場に運ばれた車体は、今度はシュレッダーという巨大な機械でどンドン砕かれ粉々にされます。そして、機械や経験豊かな人の手によって、鉄、銅、アルミニウム、プラスチックなどの素材ごとに分別・回収され、再び資源にもどされるのです。そのあとに残ったクズ「シュレッダーダスト」もさらに分別・回収されて、そのほとんどがリサイクルされます。

3 販売編

●おたずねした会社
ホンダライフ(ホンダカーズ埼玉県央)(埼玉県日高市)

ユーザーと
リサイクルをつなぐ窓口

リサイクルは車を買う時から!

車を買ったり、使用済みの車を引き取ってもらう自動車販売店は、ユーザー(車に乗る人)とリサイクルをつなぐ窓口です。使用済みの車は、「エアバッグ」「フロンガス」「シュレッダーダスト」を正しい方法で処理する必要があります。実は、そのためのお金は、ユーザーが車を買うときに「リサイクル料金」として前もって支払い、リサイクルの仕組みを支えているのです。



▼販売店の方がリサイクル券を見せながら博士に説明



▲鉄やアルミニウム、銅などの貴重な資源を素材ごとに回収